

第2章 地域の概況

第1節 地域の概要

諏訪市、茅野市を含む対象事業実施区域及びその周辺は、長野県の中央部に位置している。

本地域は、北に台地状の高原である霧ヶ峰高原、そこから東に連なる八ヶ岳連峰（いずれも八ヶ岳中信高原国定公園）と、南西に位置し豊かな水を湛える諏訪湖に囲まれた地域である。霧ヶ峰高原や八ヶ岳からは多数の河川が諏訪湖に流下し、その水はやがて天竜川となって太平洋まで流れ下る。多様な自然環境を有し、自然環境と生物多様性の豊かな地域である。

気候は、降水量が少なく、夏季が冷涼で冬季は厳しい冷え込みとなり、気温の年較差及び日較差が大きい、典型的な内陸性気候を示している。年間を通じて晴天が多く、国内でも有数の日照時間が多い地域である。

地勢は、諏訪湖とその周辺の平地からなる諏訪盆地、およびその周辺の山地からなる。諏訪湖湖岸の標高は約760m、霧ヶ峰高原の標高は約1,500～1,900mである。

対象事業実施区域の大部分はカラマツ植林とアカマツ群落、ミヤコザサーミズナラ群集からなる森林が占めている。対象事業実施区域の周辺も大部分は森林であるが、一部に農地と集落が混在している。

主要交通は、首都圏から長野県を通過して東海地方を結ぶ高速自動車国道中央自動車道西宮線（以下、中央道という）が通じ、諏訪インターチェンジが設けられているほか、一般国道20号が通じている。また鉄道路線は、JR中央本線が通じている。

対象事業実施区域の周辺には、北側に霧ヶ峰高原の別荘地、東側に霧ヶ峰農場が隣接している。また少し離れた西側には、角間川沿いに角間新田、くるみ台などの集落が位置している。



図 2-1-1 事業実施区域位置